

基準7 学生支援等

(1) 観点ごとの分析

観点7-1-①： 学習を進める上でのガイダンスが整備され、適切に実施されているか。また、学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

準学士課程，専攻科課程ともに，最初の授業の中で授業担当者がシラバスに従って授業概要，評価法等を説明している（資料7-1-①-1）。準学士課程1～3年生に対しては，特別活動実施の目安に則って計画的に学習ガイダンスを行っている（資料7-1-①-2）。また，JABEE 教育プログラムの説明会を開催している（資料7-1-①-3）。シラバスに沿った学習ガイダンス（資料7-1-①-4）に対する学生の満足度については，授業改善アンケート結果からも良好と判断できる（資料7-1-①-5）。

シラバスにオフィスアワー対応の時間帯を示し，学生の学習相談に応じている（資料7-1-①-6～8）。

担任，教科担任による学習ガイダンス

平成25年度第2回教員会議議事要旨(案)

日 時 平成25年5月15日(水) 15:52~16:43

場 所 大会議室

出席者 佐藤(淳)、安齋、宍戸、内海、佐藤(司)、五十嵐、佐々木、今野、上松、田邊、加田、山田、 以外

議 題

1. 平成25年度鶴岡高専年度計画について
評価・改善委員会委員長から、本件について、資料1に基づき説明があり、年度計画の達成に向けご協力願いたい旨述べられた。
2. 第50回東北地区高等専門学校体育大会(B大会)校内実行委員会について
学生主事から、本件について資料2に基づき説明があり、ご協力をよろしく願いたい旨述べられた。
3. 第48回全国高等専門学校体育大会(剣道競技)校内実行委員会について
学生主事から、本件について資料3に基づき説明があり、ご協力をよろしく願いたい旨述べられた。
4. 校内体育大会について
教務主事から、本件について、各顧問の先生方にはご協力願いたい旨述べられた。
次いで、南教務主事補から、資料4に基づき委細説明があり、各クラス担任におかれては、スポーツマンシップに則って試合に臨むよう学生へのご指導をよろしく願いたい旨述べられた。
5. 工場見学実施予定について
本件について、教務主事から資料5に基づき説明があり、よろしく願いたい旨、また、今年も海外での工場見学を行う予定としているが、希望者がまだ少ないので、周知をお願いしたい旨述べられた。
次いで、校長から、訪問予定の企業(タイ サイアムスタビライザー社)は、卒業生が副社長を務める会社であり、海外で活躍している卒業生をみる良い機会でもあるので、よろしく願いたい旨述べられた。
6. 平成25年度TOEIC IPテストの実施について
本件について、教務主事から、今年度も英語科の教員の協力を得て、学内で4回実施する旨、資料6に基づき説明があり、試験へのご協力と学生へのご指導をよろしく願いたい旨述べられた。
7. コンプライアンスに関するセルフチェックの実施について
本件について、総務課長から資料7に基づき説明があった。
9. その他
1) 教務主事から、シラバスについては、最初の授業での説明時に使用するなど、各教員でそれぞれ活用いただいているところであるが、到達目標や評価方法などについて、学生への説明に際し、積極的に活用いただきたい旨述べられた。

(出典：平成25年度第2回教員会議議事録)

平成25年度 特別活動実施の目安

平成25年4月1日作成

回数	実施月日 (水曜日)	1年【7校時】	2年【7校時】	3年【7校時】
1	4月10日	生活ガイダンス(学生主事他)	新学年にあたり(担)シラバスの説明	新学年にあたり(担)シラバスの説明
2	4月17日	交通講話	交通講話	交通講話
3	4月24日	校内体育大会(5/22)選手選考(担)	校内体育大会(5/22)選手選考(担)	校内体育大会(5/22)選手選考(担)
4	5月1日	(担任)	(担任)	キャリア及びCOOPガイダンス(各学科室員)
5	5月8日	学生会総会	学生会総会	学生会総会
6	5月15日	キャリアガイダンス(各学科長)	キャリアガイダンス(各学科室員)	(担任)
7	5月22日	校内体育大会	校内体育大会	校内体育大会
8	5月29日	前期中間試験(6/14～)に向けて	前期中間試験(6/14～)に向けて	前期中間試験(6/14～)に向けて
9	6月5日	スキルアップ講座(教務主事補・各学科単位)	特別講演会(知財)(仙台高専・佐々木CD)	JABEEガイダンス(FD委員会)
10	6月12日	合同観劇	合同観劇	合同観劇
11	6月19日	前期中間試験	前期中間試験	前期中間試験
12	6月26日	前期中間試験成績指導	前期中間試験成績指導	前期中間試験成績指導
13	7月3日	選手社行式	選手社行式	選手社行式
14	7月10日	「高専生活の過ごし方」(各学科専攻科生)	「高専生活の過ごし方」(各学科専攻科生)	ビジネス講座(加藤学校長):全学科
15	7月17日	性に関する講演会	企業訪問研修ガイダンス(COOP教育推進室)	企業訪問研修ガイダンス(COOP教育推進室)
16	7月24日	生活指導講演会	生活指導講演会	生活指導講演会
17	7月26日	夏季休業前指導	夏季休業前指導	夏季休業前指導
18	9月4日	防災訓練	防災訓練	防災訓練
19	9月11日	前期末試験に向けて	前期末試験に向けて	前期末試験に向けて
20	9月25日	前期末試験	前期末試験	前期末試験
21	10月2日	後期授業にあたり	後期授業にあたり	後期授業にあたり
22	10月9日	前期末試験成績指導・高専祭準備	前期末試験成績指導・高専祭準備	前期末試験成績指導・高専祭準備
23	10月16日	(担任)	サイエンス講話	インターンシップ講演会
24	10月23日	未来予想図講座(本校OB企業技術者)	未来予想図講座(本校OB企業技術者)	COOP教育報告会(COOP教育推進室)
25	11月6日	(担任)	サイエンス講話	(担任)
26	11月13日	後期中間に向けて	後期中間に向けて	後期中間に向けて
27	11月20日	ビジネス講座(加藤学校長):ME学科	サイエンス講話	(担任)
28	11月27日	後期中間試験	後期中間試験	後期中間試験
29	12月4日	ビジネス講座(加藤学校長):IB学科	サイエンス講話	特別講演「企業が求める人材」(地元企業経営者)
30	12月11日	将来イメージ講座(本校OB)	ビジネス講座(加藤学校長):ME学科	(担任)
31	12月18日	冬季休業に向けて	冬季休業に向けて	海外工場見学報告会(教務)
32	1月8日	(担任)	ビジネス講座(加藤学校長):IB学科	(担任)
33	1月15日	人間力講座(未定)	キャリアガイダンス①(職業興味検査VRT:実施)	COOP教育ガイダンス(COOP教育推進室)
34	1月22日	(担任)	キャリアガイダンス②(職業興味検査VRT:結果)	(担任)
35	1月29日	「高専生のキャリアプラン」(高専機構・三好教授)	キャリアガイダンス③(職業興味検査VRT:分析)	人間力講座(未定)
36	2月5日	学年末試験(2/20-26)に向けて	学年末試験(2/20-26)に向けて	学年末試験(2/20-26)に向けて
37	2月12日	1学年を終わるにあたり	2学年を終わるにあたり	3学年を終わるにあたり
38	2月19日	(担任)	(担任)	(担任)
39	2月26日	学年末試験	学年末試験	学年末試験
学校行事・試験他		12回	14回	13回
キャリア教育回数		9回	10回	7回
担任指導回数		18回	15回	19回

(出典：学生課資料)

JABEEガイダンス資料（抜粋）

JABEE教育プログラム説明会

(H24.3.29 3年生特活 FD委員会 飯島政雄)

- ・ 卒業生への期待
- ・ JABEEとは？
- ・ 本校のJABEE認定と審査状況
- ・ JABEE教育プログラムの特徴
- ・ 本校のプログラム「生産システム工学」
- ・ プログラムの履修対象者
- ・ " 学習教育目標
- ・ " 修了要件
- ・ JABEE取得の目的と意義
- ・ まとめ

JABEEとは？

日本技術者教育認定機構

(Japan Accreditation Board for Engineering Education)

技術系学協会と密接に連携し、大学、高専など高等教育機関で行われている技術者教育プログラムの内容、水準を審査し認定を行う非政府団体の組織(年 月設立)

設立目的

国際的に通用する技術者教育を普及させることにより、日本の技術者の国際的な活躍の場と地位向上を図ること

(年 国際的工学教育組織に正式加盟)

JABEE ガイダンス資料 (抜粋)

JABEE教育プログラムの特徴

- 1) 学習・教育目標(A~G)の設定と公開
 - * 目標の理解、周知
- 2) 学習・教育目標が学生によって確実に達成されたことの客観的証明 (教育成果の保証)
 - * 成績評価の定量化、厳格化
 - * 試験問題と答案の保存
- 3) 専門技術に加えて、「技術者倫理」、「教養や世界的視野」「英語力とコミュニケーション能力」、「問題解決能力」(創造力、発想力、構想力=エンジニアリングデザイン)を重視

JABEEプログラム**「生産システム工学」の履修対象者**

- 1) 進級した4年生全員が、「生産システム工学」プログラムの前期履修対象者(本科4, 5年生)
- 2) 前期の履修要件*を満たして高専本科を卒業し、本校の専攻科に入学**を許可された全学生が、「生産システム工学」プログラムの後期履修対象者(専攻科1, 2年生)

- 本科で必修得の科目あり(語学、応数、応物など)
本科卒業≡プログラム前期修了
- * 推薦入試では基準あり(TOEIC 330点以上やクラス成績順位など)

(出典：学生課資料)

専攻科履修科目等ガイダンス

平成 25 年度入学予定者

第 1 回 ガイダンス 2013. 3. 18 (月) 卒業式予行演習終了後

<内容>①履修届、②修了要件等について、③シラバス、④他

第 2 回 ガイダンス 2013. 4. 6 (土) 入学式終了後

<内容>①時間割、②年間の予定、他

事前の準備

1. 学位申請時の専攻区分は工学、「専攻区分」について決めておくこと

(1) 機械工学……………本科 M 科、I 科卒

(2) 電気電子工学…本科 E 科、I 科卒

(3) 応用化学……………本科 B 科卒

本科の制御情報工学科の場合、(1)、(2)のどちらかを選択する必要がある。専攻科指導教員(予定)と相談して、決めておくこと。

専攻科新 2 年生

第 1 回 ガイダンス 2013. 3. 14 (木) 専攻科研究中間発表会終了後

<内容>①履修届、②修了要件等について、③シラバス、④年間の予定、他

第 2 回 ガイダンス 2013. 5. 17 (金)

<内容>①学位申請に向けて

事前の準備

1. 学位申請時の専攻分野は工学、「専攻区分」について確認の上、単位を確認しておくこと

(1) 機械工学

(2) 電気電子工学

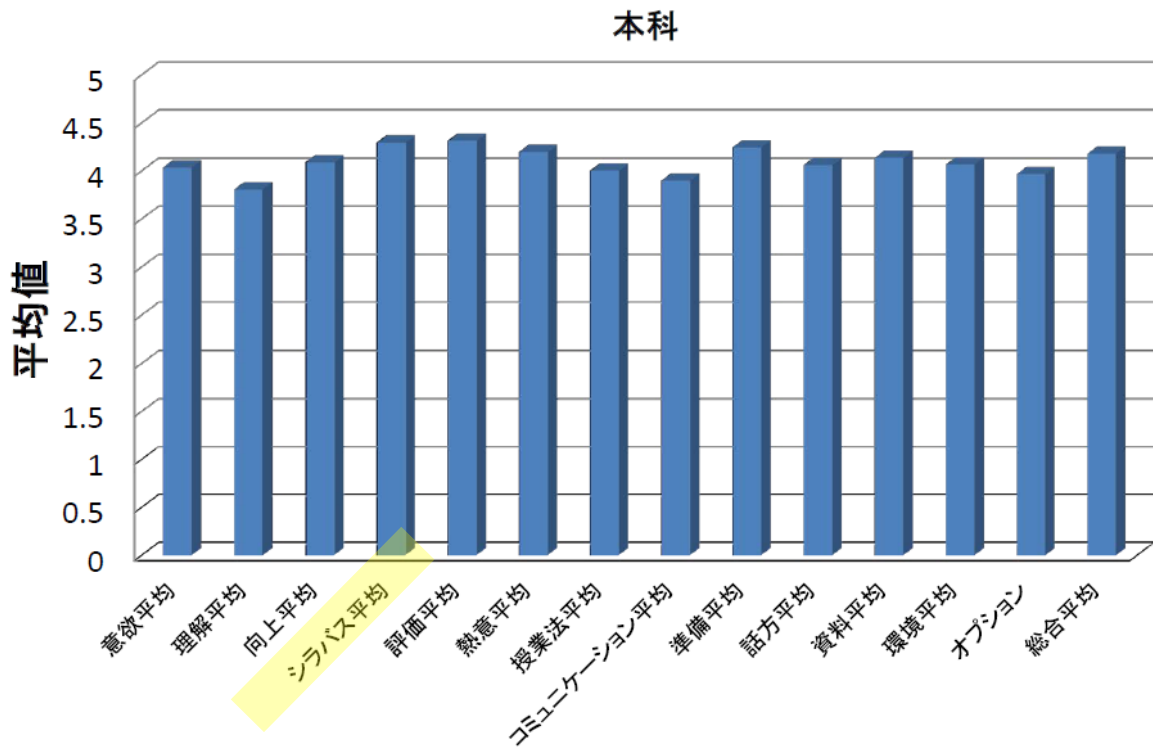
(3) 応用化学

併せて、専攻科修了要件に関しても再度確認しておくこと。

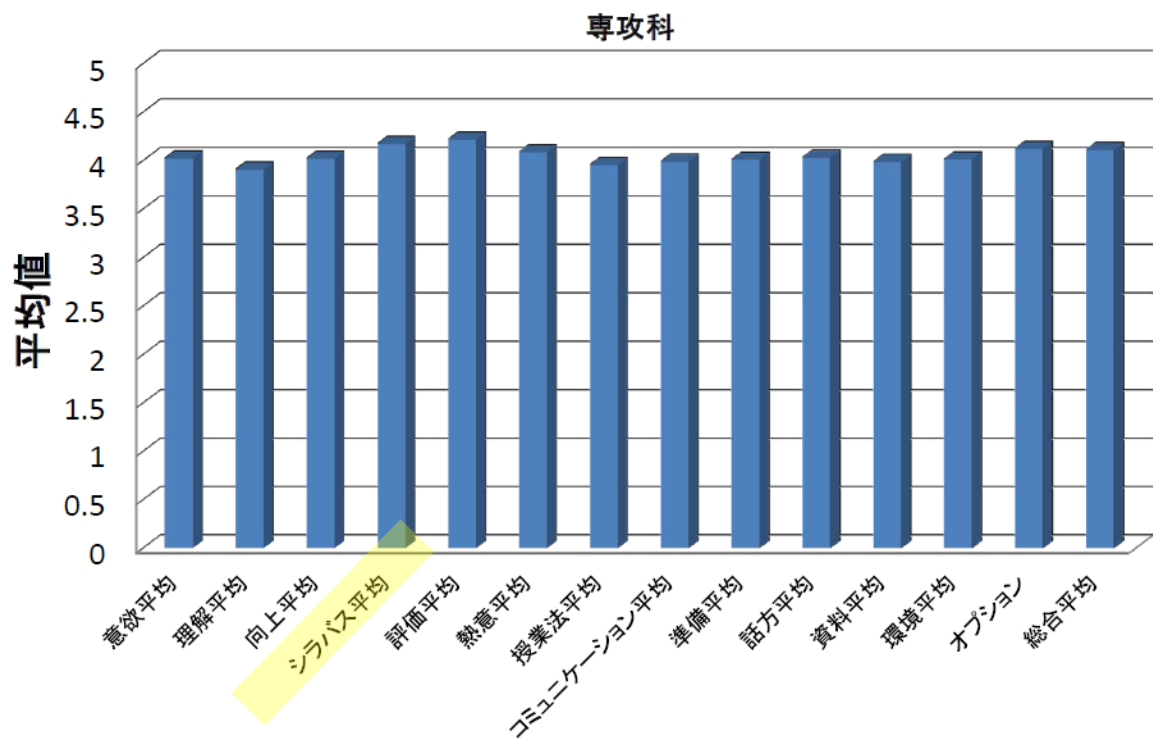
(出典：学生課資料)

資料7-1-①-5

準学士課程 授業改善アンケート結果（シラバスの利用）



専攻科課程 授業改善アンケート結果（シラバスの利用）



(出典：FD委員会資料)

オフィスアワー一覧

オフィスアワー一覧表

総合科学科

教員名	日時等
大河内 邦子	授業実施日の放課後
佐藤 浩	授業実施日の16:00-17:00、授業の前後
澤 祥	授業実施日の12:30-13:00と16:30-17:00
窪田 眞治	木曜日16:00-17:00 その他随時
上松 和弘	授業実施日の16:00-17:00
田邊 英一郎	授業実施日の15:50-17:15
本間 浩二	授業実施日の12:30-13:00、または16:00-17:00
加田 謙一郎	授業実施日の16:00-17:00
山田 充昭	授業実施日の15:40-16:40
阿部 秀樹	授業実施日の放課後
野々村 和晃	授業実施日の16:00-17:00
茨木 貴徳	授業実施日の16:00-17:00
比留間 浩介	授業実施日の12:30-13:00、または16:00-17:00
木村 太郎	16:00-17:00
主演 祐二	授業実施日の放課後
田阪 文規	授業実施日の16:00-17:00
上條 利夫	授業実施日の16:00-17:00
徳永 慎太郎	授業実施日の放課後
大西 宏昌	授業実施日の16:00-17:00

機械工学科

教員名	日時等
本橋 元	授業実施日の16:00-17:00
末永 文厚	授業実施日の16:00-17:00
當摩 栄路	授業実施日の16:00-17:00
田中 浩	授業実施日の15:40-17:00
竹村 学	授業実施日の16:30-17:15
五十嵐 幸徳	授業実施日の16:00-17:15
増山 知也	授業実施日の15:40-17:00 ほか随時
佐々木 裕之	授業実施日の16:00-17:00
矢吹 益久	授業実施日の15:40-17:00
小野寺 良二	授業実施日の16:30-17:00
今野 健一	授業実施日の16:00-17:00

電気電子工学科

教員名	日時等
佐藤 秀昭	授業実施日に限らず16:00-17:00
江口 宇三郎	授業実施日の16:00-17:00
吉木 宏之	授業実施日の16:30-17:00
内山 潔	随時
神田 和也	講義実施日の12:30-13:00、または16:00-17:00
佐藤 淳	授業実施日の16:00-17:00
保科 神一郎	授業実施日の16:00-17:00
武市 義弘	授業実施日の16:00-17:00
宝賀 剛	授業実施日の16:00-17:00
加藤 健太郎	内地研究により不在
森谷 克彦	授業実施日の16:00-17:00

制御情報工学科

教員名	日時等
吉住 圭市	授業実施日の16:00-17:00
柳本 憲作	授業実施日の16:00-17:00
渡部 誠二	月-金曜日の12:15-13:00
安齋 弘樹	授業実施日の16:00-17:00
三村 泰成	授業実施日の16:00-17:00
穴戸 道明	授業実施日の16:00-17:00
西山 勝彦	授業実施日の16:00-17:00
安田 新	月-金曜日の12:15-13:00
内海 哲史	授業実施日の16:00-17:00
金 帝演	授業実施日の16:00-17:00
佐藤 義重	授業実施日の16:00-17:00
宮崎 孝雄	授業実施日の16:00-17:00

物質工学科

教員名	日時等
瀬川 透	授業実施日の16:00-17:00
飯島 政雄	授業実施日の16:00-17:00
佐藤 貴哉	授業実施日の16:00-17:00
戸嶋 茂郎	授業実施日の16:00-17:00
南 淳	授業実施日の16:00-17:00
佐藤 司	授業実施日の16:00-17:00
森永 隆志	出向中により不在
阿部 達雄	平日の16:00-17:00
平尾 彰子	授業実施日の16:00-17:00
伊藤 滋啓	授業実施日の16:00-18:00
清野 恵一	授業実施日の16:30-17:00
粟野 幸雄	授業実施日の16:00-18:00

H25シラバスより一部抜粋

(出典：学生課資料)

資料 7-1-①-7

オフィスアワーにおける指導の例

OfficeHour 2012

物質工学科 教員名 戸嶋 茂郎

凡例 1:物理化学(3年)、2:工業英語(4年)、3:物質化学実験(4年)、4:材料工学実験(4年)、5:電気化学(4年)、6:応用電気化学(専)、7:()、8:その他

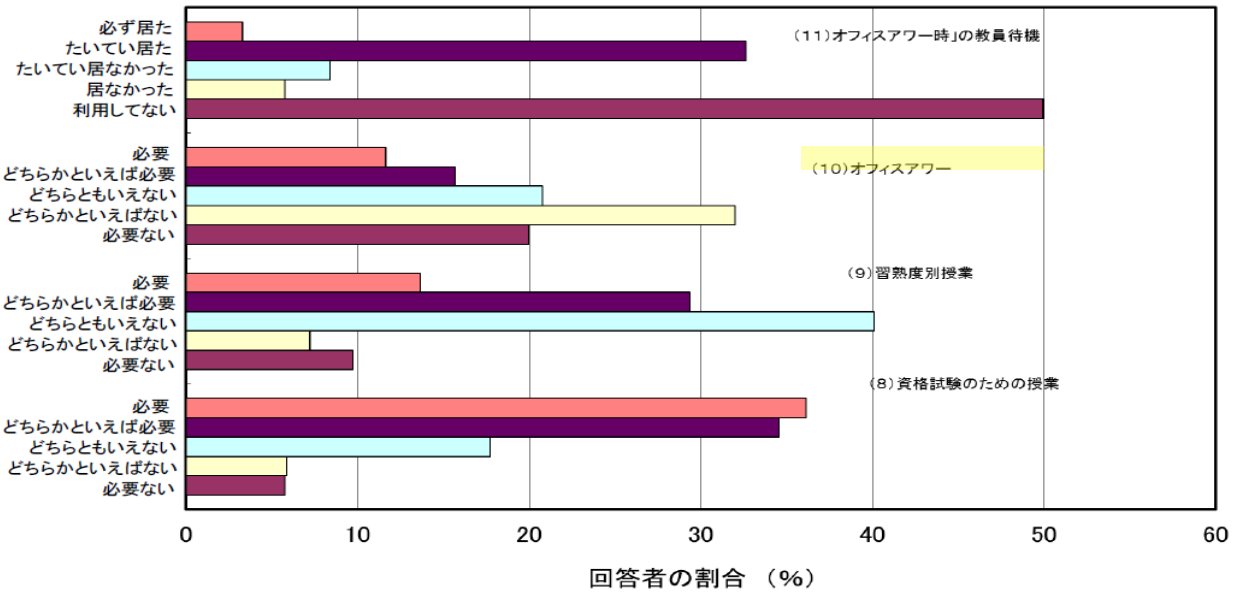
実施日	教科	人数	時間 (min)	指導内容
7月 2日(月)	3	2	30	実験レポートについてのディスカッション
7月 4日(水)	8	1	30	クラス学生に対する学習指導
7月 4日(水)	3	2	20	実験レポートについてのディスカッション
7月 5日(木)	3	10	60	実験レポートについてのディスカッション
7月 9日(月)	8	1	60	追認試験の実施
7月12日(木)	3	1	20	実験レポートについてのディスカッション
7月18日(水)	2	28	40	小テストの再試験実施
7月20日(金)	3	2	15	実験レポートについてのディスカッション
7月23日(月)	3	2	20	実験レポートについてのディスカッション
7月24日(火)	3	8	60	実験レポートについてのディスカッション
7月25日(水)	1	30	70	補習授業
	3	4	30	実験レポートについてのディスカッション
7月26日(木)	3 & 4	5	30	実験レポートについてのディスカッション
7月27日(金)	4	3	25	実験レポートについてのディスカッション
9月 3日(月)	8	1	30	クラス学生に対する学習指導
9月10日(月)	4	6	30	実験レポートについてのディスカッション
9月11日(火)	4	5	25	実験レポートについてのディスカッション
9月12日(水)	4	5	30	実験レポートについてのディスカッションおよび質問
9月18日(火)	3	1	20	実験レポートについての指導

(出典：学生課資料)

資料 7-1-①-8

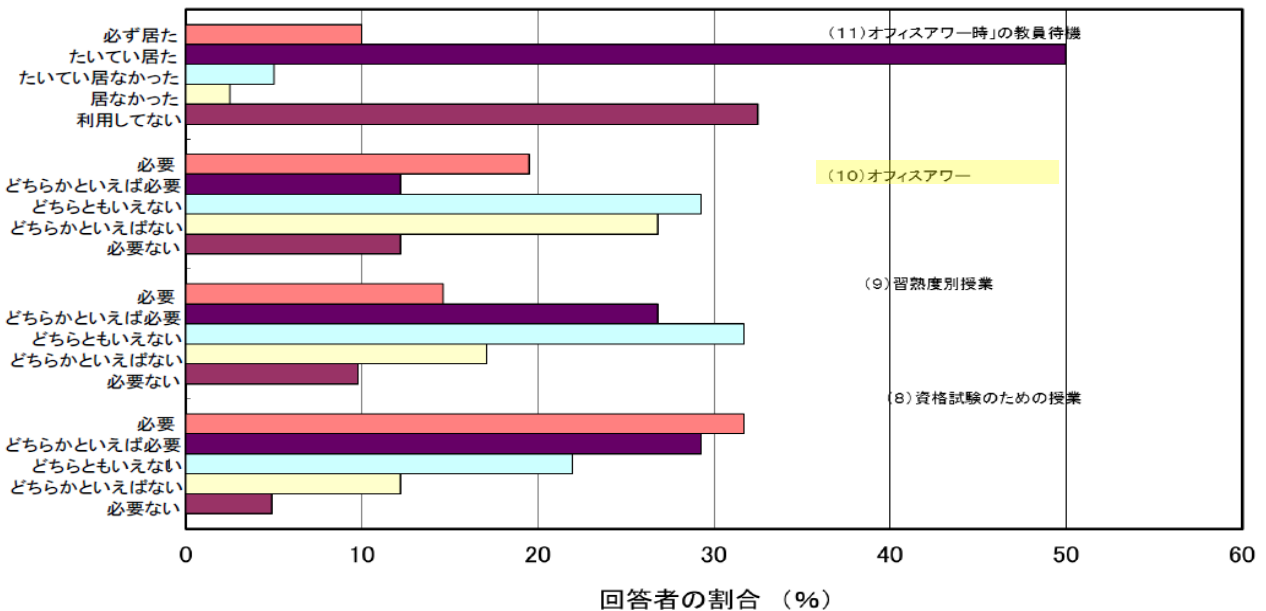
準学士課程 教育改善アンケート結果（オフィスアワーの利用）

【学習支援（本科生）】



専攻科課程 教育改善アンケート結果（オフィスアワーの利用）

【学習支援（専攻科生）】



（出典：FD委員会資料）

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程，専攻科課程とも，全ての学生を対象として，適切な形で学習ガイダンスを実施している。学習上の相談，助言を行うためにオフィスアワーが設けられており，学生のニーズに応じて指導を行っている。以上のことから，学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制が整備され，機能している。

観点7-1-②： 自主的学習環境及び厚生施設，コミュニケーションスペース等のキャンパス生活環境等が整備され，効果的に利用されているか。

(観点到に係る状況)

図書メディアセンターは，蔵書の数，種類ともに豊富で，平日20:00までの夜間と土曜日も開館しており，平成24年度の利用者数は延べ20,490人であった(資料7-1-②-1～2)。総合情報センターは，授業時間外にも利用することができ，コンピューター関係の様々な設備が整っている(資料7-1-②-3～5)。製図室は，授業時間外も自主的学習の場として開放している(資料7-1-②-6～7)。また学寮には，全部で8つの自習室があり，消灯後の午前2:00まで使用でき，多くの寮生が利用している(資料7-1-②-8)。

1号館と2号館の各階にリフレッシュルームが設置されており，学生のコミュニケーションスペースとしての役割を果たしている(資料7-1-②-9)。また，留学生のために留学生スペースも配置され，有効に利用されている(資料7-1-②-10)。これら施設・設備に対する学生の満足度は，教育改善アンケートによって集約されており，リフレッシュルームの満足度が特に高い(資料7-1-②-11)。

資料7-1-②-1

図書メディアセンター図書利用細則(抜粋)

(開館日及び開館時間)

- 第4条 センターは、日曜日、国民の祝日に関する法律第3条に掲げる休日、12月29日から翌年の1月3日までを除き開館する。
- 2 センターの開館時間は、次のとおりとする。
- 一 月曜日から金曜日 8時30分から20時まで(長期休業期間中は17時まで)
 - 二 土曜日 9時から17時まで(長期休業期間中は閉館)
- 3 その他センター長が必要と認めたときは、開館日及び開館時間を変更することができる。

(出典：平成25年度 学生便覧，p.113)

資料 7-1-②-2

図書メディアセンター利用状況

蔵書数

平成25年4月1日現在

	図書			雑誌		
	和書	洋書	合計	和文	欧文	合計
総記	3,851	193	4,044	0	0	0
哲学	2,976	150	3,126	0	0	0
歴史	4,859	198	5,057	0	0	0
社会科学	5,684	200	5,884	2	0	2
自然科学	13,101	3,949	17,050	6	0	6
工学	17,649	2,522	20,171	15	0	15
産業	644	2	646	1	0	1
芸術	2,742	32	2,774	14	0	14
語学	3,067	652	3,719	1	0	1
文学	11,484	1,125	12,609	0	0	0
合計	66,057	9,023	75,080	39	0	39

利用状況

平成24年度

開館日数	267 日
学生貸出人数	2,470 人
学生貸出冊数	4,519 冊
学生1人平均	5 冊/人
入館者数	20,490 人
入館者数平均	77 人/日

(出典：学生課資料)

資料 7-1-②-3

総合情報センター及びネットワークの利用心得（抜粋）

鶴岡工業高等専門学校総合情報センター及びネットワークの利用心得

下記の心得を守って総合情報センターやネットワークを適切かつ有効に活用してください。

○演習室の使用について

開室は、平日 8 時 30 分から 17 時までです。

総合情報センター演習室は、授業等を優先して使用して頂いていますが、授業が行われていない時間は、自由に使用することが可能です。

総合情報センターは、全校の学生・教職員が共通に使用する施設です。使用ルール、マナーを守って皆が気持ちよく使用できるようにしてください。

○アカウント及びパスワードの管理について

情報系の授業の時間に総合情報センター演習室の教育用システムへのログオン ID と初期パスワード及び電子メールアカウントと初期パスワードが通知されます。これらは、「あなたがあなたであること」を証明するための大切な情報です。初期パスワードは、速やかにあなただけが知っている秘密のパスワードに変更し、他人に知られないようにしてください。また、パスワードは定期的に変更し、適切に管理してください。

(出典：規程集)

11. 総合情報センター

11. Computer Center

総合情報センターは本校の共通施設として運用されており、主に情報リテラシー教育やプログラミング等の授業（実習）で使用しますが、その他の授業科目でも利用されます。また、昼休みや放課後等の授業で使っていない時間は誰でも自由にインターネット接続や電子メールなどを使用することができます。

Computer Center is one of the common facilities to our college. This facility is used mainly for the classes such as Information Processing and Programming, but it can be used for other classes as well. Computer Center is open to everyone in our college during lunch time or after school when there are no classes.

PCクライアント PC Client

ハードウェア hardware

パソコン (DELL 社製 Optiplex)	50台
ポストスクリプト対応ネットワーク・モノクロレーザープリンタ (Xerox DocuPrint)	2台
B0版対応大型カラーインクジェットプリンタ (EPSON MAXART-PX)	1台
リアルXGA対応フルカラー液晶プロジェクター (EPSON Offrio)	1台



教室

ソフトウェア software

オペレーティングシステム	Windows Vista Enterprise
Office スイート	Microsoft Office 2007 Ent.Ed. Open Office
電子メール	Outlook Live @ edu
インターネットブラウザ	Internet Explorer
テキストエディタ	秀丸エディタ Meadow
タイピング	TypeQuick
動画ビューワ	Windows Media Player Adobe Flash Player RealPlayer SMPlayer
P D F ビューワ	Adobe Acrobat Reader

プログラミング環境	Microsoft Visual Studio 2005 Express Edition 日本語版 Borland C++ Compiler 5 Cygwin
グラフ描画ツール	gnuplot
画像処理	Gimp
ダイアグラムエディタ	Dia
Java	J2SE SDK Eclipse
開発環境	AutoGL Visual Editor
Tex	pLatex2ε GSView ghostscript dviout
ユーティリティ	Lhaea デラックス版

サーバ Server

認証サーバ	2台
起動用サーバ	2台
ファイルサーバ	1台
システム管理サーバ	1台

ウイルス・プロテクトサーバ	1台
コンテンツフィルタリングサーバ	1台
プロキシサーバ	1台

教育支援システム CAI System

教員～学生間双方向画像転送システム	LANDeocomputerLNET
音響システム	YAMAHA

(出典：学校総覧2012, p. 32)

資料 7-1-②-5

総合情報センターの利用状況

平成 25 年 5 月 1 日
総合情報センター長
佐藤 淳

平日は 18 時まで開館しており、概ね 16 時以降からの学生の利用が多い。時間外の利用は、低学年はプログラミングの課題、高学年はレポート作成等でセンターを利用している。センターの環境は、シンクライアントであり、ネットワーク対応プリンタの利用が可能であることから、個人の作業環境をサーバーに保存しておき時間があるときに作業を再開できる。このため、昼休みや講義の合間での学生の短時間利用も見られる。

総合情報センターの業務は、従来の一斉授業環境の提供に加えて、学内 LAN サービスの提供やマイクロソフト包括契約に基づくメディア配布を行っている。学生のメール環境がクラウドに移行した事情もあり、講義関連以外での相談業務等による学生のセンターの利用も増加している。

(出典：総合情報センター資料)

資料 7-1-②-6

授業時間以外に 製図室を使用したい学生へ

機械工学科

製図室の使用は

(通学・寮生、女子学生共に)

曜日：原則 **月～金曜日(平日)**

(土・日曜日、祝・祭日を除く)

時間：**20:20まで** とする。

4・5年生に限り(女子学生を除く)

担当教員の許可を得た場合は

22:30まで 使用できる。

注 意

- ・ 製図は思った以上に時間を要するので **日頃より計画的に描く** こと。
- ・ **時間厳守**
- ・ 寮生は、点呼後も使用する場合は **必ず時間外外出届を提出** してから来ること。
- ・ **飲食物は絶対に持ち込まない** こと。

☆ 許可無く **20:20** 以降も使用した学生**22:30** 以降も使用した学生**時間外外出届** を出さな**いで**使用した寮生**飲食物を持ち込んだ**学生**製図機器等を破損させた**学生**ゴミ等を片付け**ない学生には **使用を制限** するので、留意しなさい。

(出典：機械工学科資料)

資料7-1-②-7

機械工学科寮生 製図による自由時間外の外出届け

4M製図	寮棟	部屋番号	5月12日	5月13日	5月14日	5月16日	5月19日	5月25日	5月26日	5月27日	5月28日
	1	212		○ok	○ok	○		○✓	○✓	○✓	○
	7	413									
	7	423									
	7	302								○✓	
	7	405									
	7	421		○ok	○ok	○ok			○✓	○✓	
	3	103								○✓	
	3	108	○ok	○ok	○ok	○	○✓		○✓	○✓	
	1	309	○ok	○ok					○✓	○✓	
	7	428				○		○✓	○✓	○✓	○
	7	323						○✓	○✓	○✓	○
	7	321	○ok	○ok	○ok	○	○✓		○✓	○✓	○
	1	305	○ok	○ok	○ok	○ok	○✓		○✓	○✓	○
	7	320	○ok	○ok	○ok	○ok			○✓	○✓	○
	7	326	○ok	○ok	○ok						○
	7	327		○ok	○ok						○
	2	306		○ok	○ok						
	7	401		○ok	○ok	○ok					
	2	204		○ok	○ok	○ok					
	7	409		○ok	○ok	○ok				○✓	
	1	212		○ok	○ok	○ok	○✓		○✓	○✓	○
	1	202			○ok	○ok	○✓		○✓	○✓	○
	7	310			○ok	○ok				○✓	○

(出典：学生課資料)

資料7-1-②-8

学寮の設備状況

学寮の設備状況

H25.3.14

		自習室		娯楽室		洗濯室		補食室
		部屋数	机数	部屋数	畳数	部屋数	洗濯機 乾燥機数	部屋数
1寮	1階					2	各室4	2
	2階	1	10					1
2寮	1階	1	10	1	8	1	3	1
	2階					1	3	
	3階					1	3	
	4階					1	3	
3寮	1階			1	8	1	3	1
	2階	1	10			1	3	
	3階			1	8	1	3	
	4階	1	10			1	3	
4寮	1階	1	10	1	10	1	3	1
	2階	1	4			1	3	
	3階					1	3	1
5寮	1階	1	7	1	10	1	2	1
	2階					1	2	1
	3階					1	2	1
6寮	1階					1	2	
7寮	1階					1	3	1
	2階	1	8	1	8	1	3	
	3階					1	3	
	4階					1	3	
管理棟	2階			1	28			
計		8	69	7	80	21	61	11

資料 7-1-②-8 続き

学寮の設備状況



(出典：学生課資料)

資料 7-1-②-9

リフレッシュルーム



(出典：学生課資料)

留学生スペース



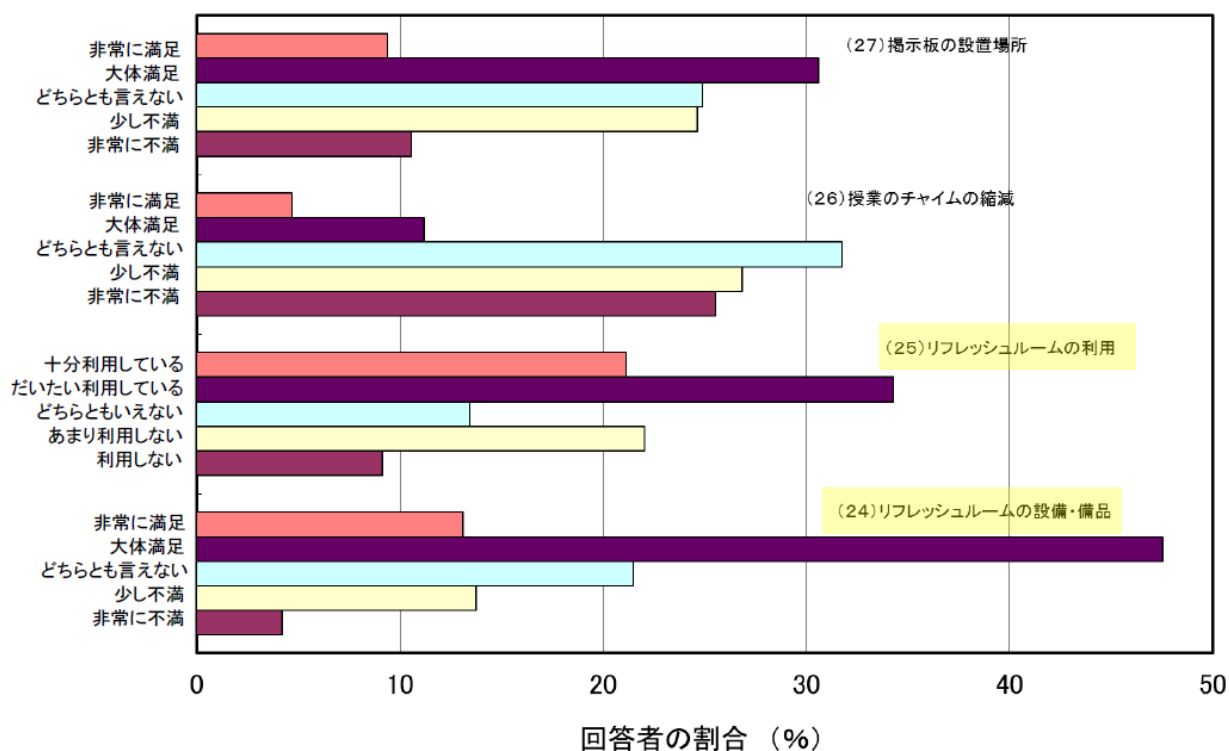
(出典：学生課資料)

資料7-1-②-11

教育改善アンケート結果（抜粋）

施設・設備の満足度

【施設・設備について②（本科生）】



(出典：FD委員会資料)

(分析結果とその根拠理由)

図書メディアセンターは蔵書の数，種類ともに豊富であり，多くの学生が利用している。総合情報センター，製図室は授業時間外でも利用可能であり，学生の自主的学習への配慮がなされている。また，学寮自習室は多くの寮生が有効に活用している。リフレッシュルームは，学生のコミュニケーションスペースとしての役割を果たしている。留学生スペースは，留学生のコミュニケーションの場として利用されている。

以上により，キャンパス生活環境等が整備され，効果的に利用されている。

観点7-1-③： 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されているか。また、資格試験や検定試験の受講，外国留学のための支援体制が整備され，機能しているか。

(観点に係る状況)

学生のニーズは，教育改善アンケート（資料7-1-③-1），授業アンケート末尾に自由記述欄（資料7-1-③-2），さらに，将来構想・戦略会議委員と学生会役員，寮生会役員との意見交換会（資料7-1-③-3），そして本校ウェブページの意見箱からも学生のニーズを把握している（資料7-1-③-4～5）。

資格取得については，TOEIC，工業英検に対応した授業を開講している（資料7-1-③-6）。TOEICは，本校を会場にした試験も行っており，学生も積極的に受験している（資料7-1-③-7～8）。専門科目でも，乙4類危険物取扱者資格試験，工業英検3級，電気主任技術者認定等，各種資格試験対策に繋がる授業を開講している（資料7-1-③-9）。

国際交流支援室が設置されており，学生の外国留学に対する支援体制も整備されている（資料7-1-③-10）。海外提携校との学生交流も積極的に奨励しており（資料7-1-③-11），多くの学生が参加している（資料7-1-③-12）。

教育改善アンケート回答用紙抜粋

★マークのしかた



教育改善に関する学生用アンケート

本校では数年前から教育の質の向上を目指して授業アンケート（ほとんど全科目について1回/年）や授業参観（特定期間での教員相互の自由参観）を実施してきました。これらが真に教育向上に役立っているのかを検証し、そして授業に対する要望を調査する目的でこのアンケートを行います。回答は現在のクラスの全授業についての平均的なものとして答えて下さい。数値%での回答ではこれら全体に対する割合として答えて下さい。

【授業アンケート】

- (1) 自分は授業アンケートに答える資格がある（授業を熱心に聞いて評価できる）と思いますか。
 ない どちらかといえばない どちらともいえない どちらかといえばある ある
- (2) アンケートは授業の改善に役立っていると思いますか。
 思わない どちらかといえば思わない どちらともいえない どちらかといえば思う 思う
- (3) アンケートの科目数や回数は適正ですか。
 多過ぎる 多い どちらとも言えない どちらかと言えば適正 適正

【授業内容、方法】

- (4) 実験・実習の内容のレベルが自分の技量（技法の修得）に適切と思う実験テーマ全体の何%程度ですか。
 0～20% 20～40% 40～60% 60～80% 80～100%
- (5) グループ学習や独自の副教材などで工夫されていると感じる授業は何%程度ですか。
 0～20% 20～40% 40～60% 60～80% 80～100%
- (6) 正課の他に補習や補講（特別指導を除く）を行っている授業は何%程度ですか。
 0～20% 20～40% 40～60% 60～80% 80～100%
- (7) 内容ややり方に満足できる授業は何%程度ですか。
 0～20% 20～40% 40～60% 60～80% 80～100%

【学習支援】

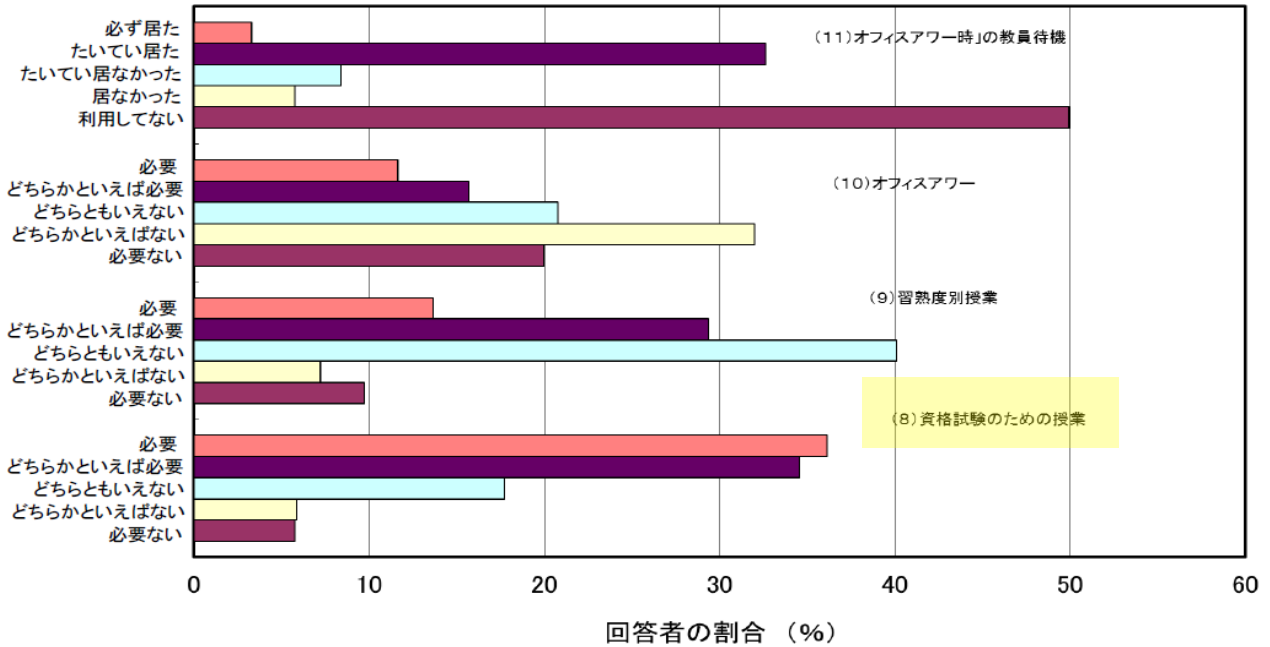
- (8) 資格試験の受験のための授業は必要ですか。
 必要ない どちらかといえばない どちらともいえない どちらかといえば必要 必要
- (9) 習熟度別授業は必要（効果的）ですか。
 必要ない どちらかといえばない どちらともいえない どちらかといえば必要 必要
- (10) オフィスアワーは利用していますか。
 必要ない どちらかといえばない どちらともいえない どちらかといえば必要 必要
- (11) オフィスアワー時に教員は居ましたか。
 利用していない 居なかった たいてい居なかった たいてい居た 必ず居た

【評価】

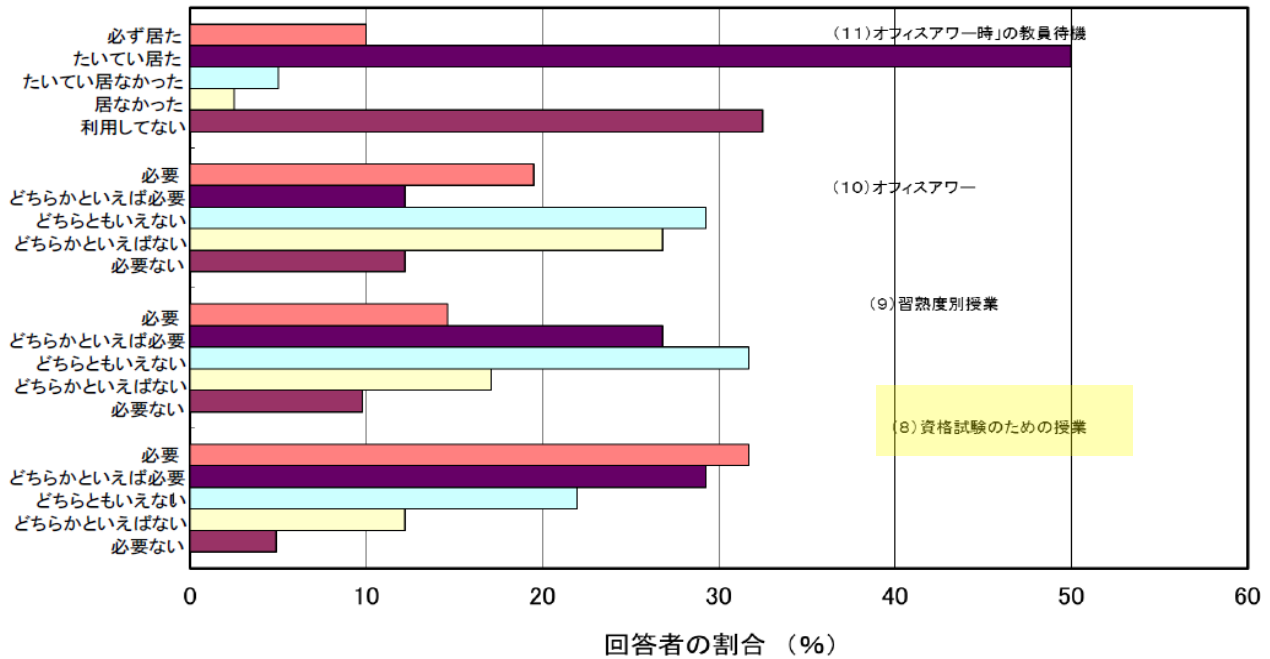
- (12) 学習した内容や成果（成績）に比べて評価はどうか。
 甘すぎる 甘い 妥当 厳しい 厳しすぎる
- (13) 試験の答案やレポートは実施したものの何%が返却されてきますか。
 0～20% 20～40% 40～60% 60～80% 80～100%
- (14) 4年生以上で利用している「学修の記録」は必要（効果的）ですか。（5年生と専攻科生）
 必要ない どちらかといえばない どちらともいえない どちらかといえば必要 必要
- (15) 授業や評価に対する不平、不満、要望などがあるとき誰に相談しますか。
 相談しない その他 担任・他の教員 友人・先輩 授業担当者

資料7-1-③-1 続き

【学習支援（本科生）】



【学習支援（専攻科生）】



(出典：FD委員会資料)

授業アンケート回答用紙抜粋

◎以下は自由記述欄です。思ったことを書いてください。

質問17 この授業で良かったと思う点を書いてください。

質問18 この授業で良くなかったと思う点、改善すべきと思う点を書いてください。

質問19 オプション (授業担当教員から指示があります)

御協力ありがとうございました。

学習支援に関わるニーズの例

- 例1 和訳をきちんと書いて欲しい。
- 例2 やる必要がない所をとばすのはありがたいが、とばす所を言ってくれないと予習がやりづらい。
- 例3 専門知識ではなく、研究者としてどうあるべきか、などを話して欲しかった。
- 例4 もっとテスト対策して下さい。
- 例5 文字を小さくして書くのをやめてほしい。

(出典：FD委員会資料)

将来構想・戦略委員と学生の意見交換会議事録（抜粋）

将来構想・戦略委員と学生会との懇談会議事録

日時：平成24年12月19日（水）16:00～17:00

参加：校長、教務主事、学生主事、寮務主事、専攻科長、事務部長、総務課長、
学生課長

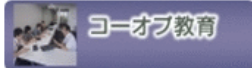
学生会 11名（金子福明、古野豪人、小野寺百茄、富樫大河、高橋直生、富樫翔太、
鈴木貴斗、斎藤多絵、志藤泰紀、佐藤怜介、古野颯人）

懇談事項

- ・ チャイムについて
毎回鳴らなくても、自分で時間が管理できるので良い。
2時間連続授業は鳴らない方が集中できる。
- ・ 学生会からの行事企画について
学生会自ら行事を企画する場合の問題点について
- ・ 部活・部室について
学生会で部活の見回り調査を行っているが、結果をまだ公表していない
部室の希望、老朽化への対応
土・日の部活動の1日休みについて
顧問教員の振替について
- ・ HPサーバーの学生会利用について
学校のサーバーの利用について
- ・ スクールバスについて
便利ではあるが、下校時間がまちまちなので増便してほしい
- ・ 授業時間について
50分授業の90分授業への切り替えについて
低学年の適応について
- ・ 安否確認システムについて
アドレスの管理
安否確認以外への適用について
Gメールの利用
- ・ 女子寮について
4学年以降も寮を利用したい
予算要求
- ・ 女性教員について
女性教員を増やしてほしい
教員公募で応募を歓迎

（出典：学生課資料）

本校ウェブページ 意見箱



- » [English Top](#)
- » [公開講座のご案内](#)
- » [JABEEへの取組み](#)
- » [戦略GP\(K-Skill\)](#)
- » [教員公募案内](#)
- » [職員採用情報](#)
- » [中学生一日体験入学](#)
- » [メカライフの世界展](#)
- » [刊行物案内](#)
- » [リンク集](#)
- » [教育情報の公表](#)
- » [情報公開](#)
- » [調達情報](#)
- » [環境方針](#)
- » [施設の利用案内](#)
- » [意見箱](#)
- » [インフルエンザ情報](#)
- » [動物実験に関する情報](#)



皆様へ

鶴岡工業高等専門学校における課題・問題点を早期に把握し、その改善に資することを目的として『鶴岡高専意見箱』を開設しました。

皆様からの率直なご意見、ご要望、ご指摘をお待ちしております。

▼ 鶴岡高専意見箱 送信フォーム ▼

氏名(任意/匿名可)

連絡先Tel(任意)

連絡先アドレス(任意)

所属(選択必須)

事項名(必須)

内容(必須)

※入力された個人情報は、本件についてのみ利用させていただき、その他の目的に使用することはありません。

(出典：本校ウェブページ)

意見箱 学生からのニーズ例

意見箱に寄せられた意見一覧表

No.	投稿日	所属	意見概要	対応	H25.2.22現在	運営会議報告日
45	H25.1.25	学生	題名:制御情報工学科の授業について もっとプレゼンテーションを行う機会を増やしたほうがいいと思います。	【当事者への対応】 制御情報工学科において、検討することとした。 【投稿者本人への回答】 匿名で連絡先の記入もなかったことから、回答は行わなかった。	学生課長→教務主事 →制御情報工学科長	H25.2.28

(出典：総務課資料)

資料 7 - 1 - ③ - 6

TOEIC・工業英検対策科目のシラバス (抜粋)

教科目名: **英語 II** (**English II**)

担当教員: 阿部秀樹・主演祐二

学年・学科/専攻名: 3 年 全学科

単位数・授業時間: 必修 2 単位 通年 週 (前期 2) (後期 2) 時間 (合計 60 時間)

単位種別: 履修単位 鶴岡高専学習・教育目標: (F) () ()

授業の概要

これまで学習した基本的な英語の単語や文法を復習することで、TOEIC 対策のための基礎固めをします。1 年間 TOEIC への橋渡しとして TOEIC Bridge 対策のテキストを使用しながら、① TOEIC 特有の出題形式に慣れること、② 400 点程度のスコアを取るために最低限必要な語彙力、文法知識、及びできるだけ要領よく正解を選ぶコツを身につけることを目指します。併せて、ヒアリング・スピーキング対策としての発音指導も行います。

関連科目: 英語 I、語学演習

	授業内容	(W)	達成目標
前	TOEIC Bridge Unit 1, 音トレ Unit 1, 2, 3	(2)	1) TOEIC Bridge の問題形式に慣れる。
	TOEIC Bridge Unit 2, 音トレ Unit 4	(2)	2) 品詞を理解し、英文の構造を知る。
	TOEIC Bridge Unit 3, 音トレ Unit 5	(2)	3) トピックを聴き取り、話し手を特定する。
	TOEIC Bridge Unit 4, 音トレ Unit 6	(1)	4) wh で始まる疑問文を理解する。

教科目名: **英語 I** (**English I**)

担当教員: 徳 永 慎太郎

学年・学科/専攻名: 4 年 全学科

単位数・授業時間: 必修 2 単位 通年 週 (前期 2) (後期 2) 時間 (合計 60 時間)

単位種別: 履修単位 鶴岡高専学習・教育目標: (F) () ()

授業の概要

この授業では、1 月下旬に 4 年生全員が受験する TOEIC IP テストの試験対策を行います。TOEIC300 点台後半から 400 点以上獲得のために必要なリスニング・リーディングスキルの習得を目指します。前期中間試験 (6 月)、前期末試験 (9 月)、後期中間試験 (11 月) を実施し、1 月の TOEIC テストに向けて、段階的に英語力を高めていきます。また、スピーキングの練習も行い、実用的英語コミュニケーションの向上にも配慮します。

関連科目: 英語 I・II (3 年次)、語学演習

	授業内容	(W)	達成目標
前	< TOEIC への基礎固め >		・ TOEIC 重要語句 (約 120 項目) が理解できる。
	Unit 1 Part1&Part2 基礎固め	(2)	・ 話し手が次に何と言うか推測しながら、対話の内容を聞き
	Unit 2 Part3&Part4 基礎固め	(2)	取ることができる。
	Unit 3 Part5&Part6 基礎固め	(1)	・ 英語で書かれた掲示や文章を読み、その目的や主旨を理解

教科目名: **語学演習 (徳永)** (**Language Seminar**)

担当教員: 徳 永 慎太郎

学年・学科/専攻名: 5 年 全学科

単位数・授業時間: 必修 1 単位 通年 週 (前期 1) (後期 1) 時間 (合計 30 時間)

単位種別: 学修単位 (演習) 鶴岡高専学習・教育目標: (F) () ()

授業の概要

英会話の授業です。流暢な英語の発音、ためになる語彙や表現を身につけるために、リスニングと発話練習を繰り返し行います。Class activity では様々な場面における英語でのやり取りの実践を通して、英語コミュニケーション能力を高めます。また、授業で異文化に触れることでグローバルな知識と視野を育みます。

関連科目: 工業英語、英語表現法

	授業内容	(W)	達成目標
前	1. The Family Business	(2)	Students will be able to talk about:
	2. Beginnings	(2)	
	3. Things Fall Apart	(3)	Asking for things on a flight Answering questions at immigration

資料 7 - 1 - ③ - 6 続き

教科目名: 語学演習 (田邊) (Language Seminar)

担当教員: 田 邊 英一郎

学年・学科/専攻名: 5 年 全学科

単位数・授業時間: 必修 1 単位 通年 週 (前期 1) (後期 1) 時間 (合計 30 時間)

単位種別: 学修単位 (演習) 鶴岡高専学習・教育目標: (F) () ()

授業の概要

TOEIC 対策と英作文演習が中心です。TOEIC 対策はテキストの問題を解くことで、300 点レベルを 400 点レベルに上げることを目指します。英作文演習では、比較的簡単な単語や連語を使って、基本的な英文を書く力を身につけることを目指します。TOEIC 対策、英作文演習のどちらにおいても、これまで学習した単語、連語、文法、構文などの復習も併せて行います。

関連科目: 工業英語

	授業内容	(W)	達成目標
前	Unit 1 Eating Out	(1)	・ 外食、旅行、娯楽、会議に関する基本的な単語の意味が分かる。 ・ 品詞を正しくかつ即座に区別することができる。 ・ 基本的な単語を使って、単純な構造の英文が書ける。
	Unit 2 Travel	(1)	
	Unit 3 Amusement	(1)	
	Unit 4 Meetings	(2)	

教科目名: 語学演習 (阿部) (Language Seminar)

担当教員: 阿 部 秀 樹

学年・学科/専攻名: 5 年 全学科

単位数・授業時間: 必修 1 単位 通年 週 (前期 1) (後期 1) 時間 (合計 30 時間)

単位種別: 学修単位 (演習) 鶴岡高専学習・教育目標: (F) () ()

授業の概要

今年度は「英作文」をテーマにして (1) 逐語訳から脱皮し、適切かつ自然な英語の文章をかくようになること、(2) 作文する時に自分の考えを論理的にまとめ、読みやすい文章をかくようになること、の 2 点を目標に学習していきます。Grammar Review で基礎英文法のおさらいをして、Expressions、Writing Exercise によって段階的に英作文演習をすることになります。

関連科目: 英語 I,II、工業英語

	授業内容	(W)	達成目標
前	Chapter 1 Meeting New People at College	(3)	・ 各章のトピックに関する関連語句を理解し、運用できる。 ・ Expressions で取り上げられている表現すべて、適切な文脈で使うことができる。 ・ Paragraph Writing ができる。
	Chapter 2 Attending Classes	(3)	
	Chapter 3 Pastimes	(2)	

教科目名: 語学演習 (主濱) (Language Seminar)

担当教員: 主 濱 祐 二

学年・学科/専攻名: 5 年 全学科

単位数・授業時間: 必修 1 単位 通年 週 (前期 1) (後期 1) 時間 (合計 30 時間)

単位種別: 学修単位 (演習) 鶴岡高専学習・教育目標: (F) () ()

授業の概要

使える英語を身につけて卒業してもらうため、4 技能を総合的に伸ばします。50 分の授業を大体 4 等分し、英検 2 級程度の単語と文法練習、映画を活用したリスニング、各自のレベルに合わせた多読、プレゼンテーションの練習を行います。授業は、基本的に英語で行います。This class will be taught mainly in English and aims to improve your total skills of English using movies, short books, powerpoint presentations etc.

関連科目: 英語 I (4 年次)、英語表現法

	授業内容	(W)	達成目標
前	シラバスとログイン方法の確認	(1)	・ 英検 2 級程度の語彙と文法の知識を身につける。 ・ 映画で自然な速さで話される英語を聞き取り、その概要や表現を概ね理解できる。 ・ 自発的に英語読書を進め、読み取った内容を英語で簡潔に
	総合英語演習	(7)	
	・ 英検 2 級程度の単語と文法 ・ 映画を用いたリスニング		

(出典: 平成 25 年度 シラバス, p. G-35, p. G-42, pp. G-47~G-50)

資料7-1-③-7

TOEICテスト実施案内

平成24年度第1回 TOEIC IP テスト実施案内

1. 実施対象 5年生・専攻科（希望者のみ）
2. 実施日時 5月 2日（水）
13：10～
※13：00までに集合すること
3. 受験料 3,000円
4. 申込先 教務係
※必ず受験料を添えること
5. 申込締め切り 4月17日（火）12：00
※期日厳守
6. 受験室 LL教室

(出典：学生課資料)

資料7-1-③-8

年度別TOEIC IPテスト 受験者数

TOEIC IP 受験者（延べ人数）

年度	受験者数（人）	実施回数（回）
平成20年度	344	5
平成21年度	364	5
平成22年度	310	4
平成23年度	321	4
平成24年度	280	4

(出典：学生課資料)

資格試験に関連した専門科目のシラバス (抜粋)

教科目名: **電気電子材料** (**Electrical and Electronic Materials**)

担当教員: 森 谷 克 彦

学年・学科/専攻名: 4 年 電気電子工学科

単位数・授業時間: 必修 2 単位 通年 週 (前期 2) (後期 2) 時間 (合計 60 時間)

単位種別: 履修単位 鶴岡高専学習・教育目標: (D) () ()

授業の概要

本講義では固体物質に共通する基本的事項を学習した後、現在理論的にも実用的にも重要と思われる半導体の基礎物性とpn接合、誘電材料、磁性材料の基礎物性を中心に学習する。なお、**本科目は電気主任技術者認定科目の◎印科目である。**
 関連科目: 化学 (2年)、電子工学 (3年)

	授業内容 (W)	達成目標
前	1. 電気電子材料の物性 (1). ボーアの量子化条件 (2). 原子の結合と結晶構造 (3). 電子の集合と統計力学	1. (1) 原子の構造と電子の振る舞い、その相互関係を理解できる。 (2) 原子の結合とその種類、特性、結晶構造と空間格子、格子

教科目名: **高電圧工学** (**High Voltage Engineering**)

担当教員: 森 谷 克 彦

学年・学科/専攻名: 4 年 電気電子工学科

単位数・授業時間: 必修選択 2 単位 前期 週 (前期 2) (後期) 時間 (合計 30 時間)

単位種別: 学修単位 (講義) 鶴岡高専学習・教育目標: (E) (D) ()

授業の概要

電気・電子回路の正常動作の妨げとなる、気体、液体、固体絶縁物での放電が発生する様子及び各種電力機器、生産設備の安全使用と高効率活用の基礎を学び、その対応策を理解させる。また、高電界と言う観点で、電力系だけでなく、デバイス系の解析にも必要な内容であり、電気主任技術者認定単位の中、○印科目である。
 関連科目: 電気磁気学 (2,3年)、電気機器 I (3年)、電気機器 II (4年)、電気電子計測 (3年)

	授業内容 (W)	達成目標
前	1. 気体の絶縁破壊 (2) 2. 液体の絶縁破壊 (1) 3. 固体の絶縁破壊 (2) 4. 複合誘電体の絶縁破壊 (2)	(1) 気体放電現象の発生機構、コロナ放電、グロー放電、アーク放電の概要、特徴が説明できる。 (2) 主な電圧の種類とその放電の特徴が説明できる。 (3) 主な電極の放電特性が説明できる。 (4) 高圧ガス、真空中の放電特性が説明できる。

教科目名: **工業化学特論 II** (**Introduction to Industrial Chemistry II**)

担当教員: 飯 島 政 雄

学年・学科/専攻名: 2 年 物質工学科

単位数・授業時間: 必修 1 単位 前期 週 (前期 2) (後期) 時間 (合計 30 時間)

単位種別: 履修単位 鶴岡高専学習・教育目標: (C) () ()

授業の概要

乙4類危険物取扱者の資格試験取得を目指し、その試験範囲から特に基礎的な化学を中心に危険物の性質や取扱法について理解を深める。授業では例題や演習問題を多く取り入れ、知識を確実なものにしていく。

関連科目: 化学、物質工学演習

	授業内容 (W)	達成目標
前	1. 危険物取扱者の種類と資格試験 (1) 2. 物理学と化学の基礎知識 (3) 2. 1 基礎物理および基礎化学 (3) 2. 2 燃焼の基礎知識 (2)	・物理変化と化学変化を区別でき、化学の基礎的な一般法則や用語を説明できること。 ・燃焼の三要素と態様を理解し、爆発限界および燃焼限界、引火点などの燃焼に関する物性値の意味を理解できること。